

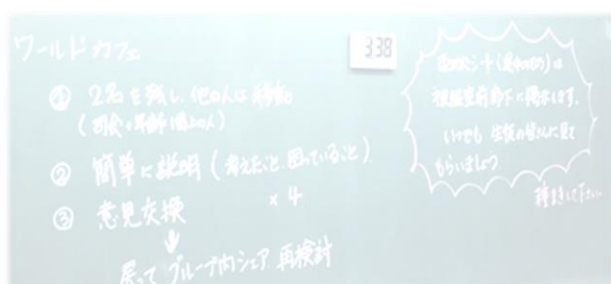
	学校だより 第 9 号	啐（そつ）とは、鳥が卵からかえるとき、殻の中で雛が鳴くこと。啄（たく）とは、親鳥が外から殻をつつくこと。両者相呼応した、逃すべからざる好機をいう。当校では、啐啄の精神から大きな成果が生まれると考え、職員玄関に掲額している。
	令和 4 年 1 月 17 日	
	上越市立城西中学校	

共に、創る ～校則の見直しに向けて～

「学校のルールは、私たち生徒のものです。」

生徒会長の さんが、第 1 回校則見直し拡大実行委員会の始めに語ってくれた言葉です。

この会は、12 月 23 日（木）の放課後に、生徒会長・副会長、1，2 年生の新生徒会執行部員に、教員 5 名（生徒会担当や生徒指導担当）が加わって行われました。今回は、保護者の皆様からいただいたご意見やご提案をもとに、話し合いました。



▲第 1 回は、ワールド・カフェ（話し合いの手法）の学習も兼ね、教頭が進行役を担当しました。次回からは生徒主体で進めていきます。

▼生徒も教員も同じ立場で話し合いました。保護者の皆様の様々な考えやご提案に触れ、考えを深めたり広げたりすることができました。アンケートへのたくさんのご回答、ありがとうございました。



この校則見直しの取組は、上越教育事務所の桑原指導主事からご助言をいただきながら進めています。会を参観した桑原指導主事からは「生徒と教師が平らに語り合っているこの空間が、素敵だった。会場に入った瞬間から、肯定的な空気を感じていた。生徒会長の『学校のルールは、私たち生徒のものです』の一言には度肝を抜かれた。話し合いを進めるごとに生徒さんたちが変容していることを感じて、可能性の広がりを感じた。一緒に学びたいと思わせる、素晴らしい生徒さんたちだった。また、保護者の皆様のご意見やアイデアをもとにすることで『生徒 VS 教師』ではなく、『生徒+教師』で話し合いを展開できていた。」と感想をいただきました。

「教員が『禁止』と『許可』で生徒を管理する学校」ではなく「生徒と教師がアイデアを出し合い、ともに創っていく学校」を目指して、取組を進めてまいります。



「感謝と感動のしめくり」の第 5 教育期が始まりました。感染防止をはじめ、生徒の安全・安心の確保に精一杯努めながら、頑張っている生徒たちと共に、「春」を目指します。

今年もよろしく願いいたします。

～城西中学校職員一同～



『生徒会役員任命式・委嘱式』

1月7日（金）に、令和4年度生徒会の会長・副会長が校長から任命されました。城西中生徒会の良き伝統を受け継ぎ、新たに躍進しようという強い決意が感じられました。任命式後、新生徒会長より執行部員に委嘱状が渡されました。

<新執行部>



（副会長）

（生徒会長）

（副会長）



今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響を多く受けてきましたが、みんなが仲間と一緒に目標に向かって努力したことで、楽しい思い出をつくることができました。そんな仲間の輪を広げていけるように、執行部のみんな、そして全校生徒のみんなと頑張っていきます。

新会長（任命式「決意発表」より）

栄光の記録

【科学部】

○いきいきわくわく科学賞 2021

県優秀賞 『植物を根から染色するには』



(A 班 7 名)

県奨励賞 『卵パックの強化』

(B 班 7 名)

【美術部】

○JA 共済小・中学校交通安全ポスターコンクール

銀賞
銅賞
佳作

○大山賞小中学生絵画コンクール



【バスケットボール部】

○第 31 回 阿賀野カップ



男子の部 優勝
女子の部 第 4 位

《 お知らせ 》

新潟県教育委員会から、教育広報紙「かけはし」第 51 号が発行されました。

令和 5 年度以降の「地域部活動」に関する内容も掲載されています。右の QR コードからご覧いただくか、次の URL から閲覧することもできます。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/294880.pdf>



1 年生 自立と飛躍に向けて

中学校の生活にもすっかり慣れ、1 年生の多くは「どんな先輩になろうか」と先を見据えています。2 学期、全校体制で取り組む行事の経験は、大きく意識が変わるきっかけでした。中学校ならではの自治的な活動は、1 年生の意識を一層刺激したことでしょう。先輩たちに感謝です。また、リーダー志向の生徒たちにも大きな後押しとなりました。後期の級長会に立候補する生徒、次年度の生徒会執行部に立候補する生徒が実に多く、選考は難航しました。誰かのために自分の力を発揮する経験、仲間と協力する経験が、喜びや成果となって表れているのでしょうか。6 年生を対象にした 11 月の学校説明会は、1 年生に課せられた学校の大切なミッションでした。成功に向けたトライ＆エラー、創意工夫は、学年全体としての自信にもつながったと思います。3 学期は、進路学習の充実（進学すること、働くこと）と年度末の学年イベントの成功を大きな柱にしていけます。1 年後、そしてさらにその先の展望を描きながら、3 学期一日一日を充実させることを期待しています。

（1 学年主任）



2 年生 修学旅行に向けて

多くの生徒が楽しみにしている修学旅行。コロナ禍の終焉を期待して、関西方面での実施を目指して計画を立ててきました。しかし、未だに感染拡大が心配される状況であるため、1 泊 2 日で北陸方面（石川県・福井県・富山県）への実施に変更して、3 月に実施する予定です。現段階では、1 日目の金沢市内班別自主研修、2 日目の北陸方面クラス別研修を柱として考えています。

修学旅行のオリエンテーションを終え、生徒からは「楽しみ」「早く行きたい」という声が多く聞こえてきます。今後、修学旅行実行委員の選出、班別自主研修の班編成やクラス別研修場所の決定など、急ピッチで準備が進められます。2 年生全員の力で、一生に一度の最高の思い出となる修学旅行を創り上げてほしいです。今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、実施の有無も含めて変更になる可能性があります。実施できることを心から願っています。

（2 学年主任）



3 年生 進路決定、受検、卒業に向けて

進路実現に向けて、11 月から希望者を対象とした放課後学習会を行っています。曜日によって参加人数は異なりますが、多い日だと学年で 60 名程の生徒が放課後に残って、黙々と真剣に学習に取り組んでいます。問題集や入試の過去問をひたすら解き続ける生徒もいれば、先生に質問をして疑問を解決しようとする生徒もいます。向上心をもった生徒がこれほど多いことに驚くとともに大変うれしく感じています。さて、今月から私立高校の入試、2 月には公立高校の特色化選抜入試、3 月には公立高校の一般選抜入試…と、自分の目標に向けた戦いが始まります。「まだまだ先の話…」と感じていた入試本番が目前に迫ってきました。進路実現に向けて、心身ともに万全の体制で入試本番を迎えられるように、そして全員が笑顔で卒業できるように、一日一日を充実させる毎日です。

（3 学年主任）



新型コロナウイルス感染症などへの対策

①手洗い(手指消毒)・うがい、咳エチケット、正しいマスクの着用

マスクを正しく着用し、手洗い・うがいや咳エチケットを徹底しましょう。また家に帰ったら手だけでなく顔も洗ったり、すぐに着替えたりすることでも感染を予防できます。



②3つの密(密閉空間、密集場所、密接場面)を避けた新しい生活様式の実践

○密閉空間をつくらない、行かない

換気は、気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに(30分に1回以上、数分間程度、窓を全開にする)、2方向の窓を同時に開けて行いましょう。

○密集場所に行かない

他の人とは互いに手を伸ばして届かない十分な距離(2m以上)を取りましょう。飲食の際に隣の人と一つ飛ばしに座ったり、真向かいに座らずに互い違いに座ったりするのも有効です。

○密接場面で会話や発声をしない

対面での会話が避けられない場合には十分な距離を保ち、マスクを着用しましょう。特に飲食の際には会話を控え、飲食時以外はマスクを着用するようにしてください。

③抵抗力を高める

感染予防の基本は免疫力を高めることです。「十分な睡眠」「適度な運動」「バランスの取れた食事」を日頃から心掛け、ウイルスの侵入にも負けない強い体をつくりましょう。

④毎日の体温の測定と健康観察

毎日、朝、体温の測定をし、普段と違う様子はないか(顔色、表情、風邪症状等)健康状態の確認をしましょう。発熱や咳、倦怠感などの風邪症状がある場合は無理をせず家庭で休養をしてください。また、速やかにかかりつけ医を受診するか、新型コロナウイルス受診・相談センター(TEL025-256-8275)に相談してください。

***生徒及び同居親族等がPCR検査や抗原検査を受ける場合は、学校(TEL025-523-7222)又は担任にご連絡ください。また、検査結果は分かり次第、速やかにご連絡ください。よろしくお願いいたします。**

行事予定



- 1日(火)・2日(水) 新入生入学説明会(保護者)
- 4日(金) 第2回生徒総会
スクールカウンセラー訪問日
- 8日(火) 新潟県公立高校入試(特色化選抜)
1・2年生質問教室
- 9日(水)・10日(木) 1・2年生第4回定期テスト
- 16日(水) 生徒会専門委員会
- 18日(金) スクールカウンセラー訪問日

